

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスぐりっと南城		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 20日		令和8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 20日		令和8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている。	こどもの特性等の情報共有を随時職員間で行い、職員間で周知するように心がけている。また、様々な専門職が在職しているため、専門職からみた視点を職員間で共有することにも心がけている。	より良い支援の向上を目的とし、こどもの特性に応じた研修の機会を設けて職員の知識の向上を図っていく。
2	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	児童が来所する前に会議を行い、利用する児童に対しての情報共有や、今日の活動内容や職員の役割分担について話し合う機会を設けている。	引き続き、職員間での会議を徹底していく。また、更に連携した支援を行えるように話し合う機会を設けていく。
3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	看護師が在職しているため、看護師を主に児童の身体の状態や、服薬や予防接種の状況理解を行っている。	看護師から他の職員に向けて、こどもの身体状況についての研修や話し合う機会を設けていき、全職員が共通理解できるような体制を作っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げることができていない。	第三者に依頼することができていなかった。	令和8年度2月より、南城市民生委員に依頼することができた。今後、虐待防止委員会等に参加していただくことになっている。
2	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族などの参加できる研修の機会や情報提供を行っていない。	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)に対する職員の知識が足りない。 家族が集って情報提供をする場を設けることができていない。	今後、4月より家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)に対する研修を行っていき、職員の知識の向上を目指していく。そして、家族などが参加できる場の提供に繋げて行く。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が持てていない。	事業所内での支援が主に行われているため、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流を持つことができていない。	地域との関わりは適時行われているため、今後交流して活動する機会を作っていくようにしていきたい。